



熊本地震の記憶を風化させない

堂園地区まちづくり協議会が震災記録誌を作成

堂園地区まちづくり協議会が震災記録誌を作成し、地区でのお披露目を前に、3月6日、町に寄贈しました。

記録誌には、同地区の被害状況や復興への歩みのほか、地区の老若男女68人が震災当時の思いなどをつづった文章が掲載されています。また、記録誌と併せて、堂園池のハス、大蛇伝説、断層の3つをモチーフとしたロゴ入りのTシャツ、のぼり旗、エプロンも作成しています。

同協議会田上勝志会長は、「震災の記憶を風化させたくない。学校や図書館に置いてほしい」と述べました。



記録誌を寄贈した堂園地区まちづくり協議会の皆さん



花束を手に喜ぶ河北さん(中央)とご家族の皆さん

おめでとうございます 百歳表彰

川内田^{かわきた}の河北フサエさん

河北フサエさん(大正9年2月17日生)が100歳の誕生日を迎え、百歳表彰を受けました。

西村町長から表彰状と敬老祝い金を受け取った河北さんは、「ありがとうございます」と述べました。

長寿の秘訣について河北さんは、「何でも残さず食べることと運動。特に歩くこと」。その言葉通り、散歩や椅子に腰掛けての体操をずっと続けています。

また、表彰を受ける数日前、お祝いに集まった親戚一同に「検診を毎年受けること」と助言したそうです。

オールましきでにぎわいづくり

まちづくり会社「株式会社未来創成ましき」設立

町商工会と町は、3月3日、熊本地震からの創造的復興に向けたにぎわいづくりのけん引役として、株式会社未来創成ましき(住永金司代表取締役社長)を設立しました。主に町中心市街地におけるまちづくり事業の推進を担います。

本会社の趣旨に賛同いただいた上益城農業協同組合、(株)肥後銀行、(株)丸菱、九州産交バス(株)から役員をお迎えし、民間と行政が連携した、にぎわいづくりに向けての活動を行っていきます。



設立を記念して固く握手を交わす役員の方々の皆さん(3月23日発足会)

Pickup Plus
今月のプラス+



仮設庁舎玄関横に展示されているくまモンネットアートが、3月18日、3代目にリニューアルされました。これは、NPOひまわりの夢企画が、広く寄付金を募り、各団体の協力を得て作り上げたものです。荒井勲代表は、「3代目はハートが大きくなりました。これを見て、町民の皆さんがほっとしてくれればうれしい」と話しました。